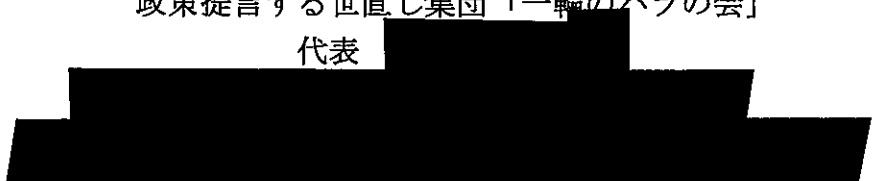


受理年月日	令和6年2月29日	所管委員会	総務財政委員会
番号	6年陳情第4号		
件名	対外的情報省と横田基地に関する意見書提出について		
陳情者	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 1em; margin-bottom: 5px;"></div> 社会の歪を鋭く追及 政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」 代表 <div style="background-color: black; width: 100%; height: 1em;"></div>		
分割送付	なし		
要旨	<p>国に対し、海外の情勢の急激な変化に対応するために、日本にも対外的情報省を設立し、国内外の情勢を把握、国家の安全と国民の生命、財産を守ることです。課題は情報機関として機能するには長時間かかると考えます。その間、日米安保条約を戦後から今日に至る間再検討を行い、都内にある米軍施設（横田基地を含む）7か所の基地を見直す必要があると考えます。</p> <p>よって、以下の事項について陳情します。</p> <p>1. 国に対し、対外的情報省と都内にある米軍施設（横田基地を含む）7か所に関する意見書を提出すること。</p>		

令和6年2月26日

福岡市議会議長
打越 基安 様

社会の歪を鋭く追及
政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」
代表



対外的情報省と横田基地について意見書提出に関する陳情書

陳情の趣旨

国に対し、海外の情勢の急激な変化に対処する為に、日本にも対外的情報省を設立し、国内外の情勢を把握、国家の安全と国民の生命、財産を守る事です。

課題は、情報機関として機能するには長期間かかると考えます。その間、日米安保条約を戦後から今日に至る間再検討を行い、都内にある米軍施設（横田基地を含む）7か所の基地を見直す必要があると考え陳情します。

ついては、国に対し、対外的情報省と都内にある米軍施設（横田基地含む）7か所に関する意見書を提出するよう陳情します。

陳情事項

- 1, 国は世界の情勢を鑑み、対外的情報省を設立、その過程で日米安保条約を再検討し、都内の米軍施設（横田基地を含む）7か所の基地を見直す必要があると考え、国に意見書を提出するようお願いする次第です。

資料、

対外的情報省設立と横田基地に関する意見書（案）

世界経済はパンデミック（コロナ感染症）や戦争（ロシア、ウクライナ）の影響でインフレが進み、世界の新興国では国家の破綻が続いています。（アジアではスリランカ）、現在も世界的にインフレが経済に影響を与えています。

我が国も東アジア情勢の激変（中国の台湾武力統一）及び（北朝鮮の核開発）の厳しい情勢を鑑み、防衛力強化の政策に転じ、中期防衛力整備計画で防衛費増額に踏み出しました。

しかし、重要なことは、防衛力強化の一つには、情報収集能力が存在します。仮想敵国の気候、人口、言語、経済力、地域の習慣、地理、宗教、国民感情等の情報を把握する事が大切です。

又それらの情報を把握したら、情報を判断する機関が必要不可欠です。日本には正式な対外的情報省がありません。

この為、対外的情報省を設立することです。又設立しても情報収集能力の機能を発揮するまでは、長期間は必要と思われれます。

この間、日米安全保障条約を締結から今日まで一度運営方法を再検討し、特に都内にある米軍施設（横田基地を含む）7か所の基地を見直す必要があると考え意見書を出す次第であります。

提出先

例	内閣府	宛
	外務省	宛
	防衛省	宛
	法務省	宛